

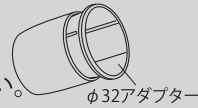
襖用脱着手すりブラケットN 施工説明書

BF-26

襖用脱着手すりブラケットNは手すりを連続して取付けるための部材です。安全に使用して頂けるよう、またトラブルの無い確実な取付けをして頂くためにも、施工の際によくお読み頂き以下の事を必ずお守りください。

施工上の注意

- 当製品は室内用です。屋外および浴室には使用できません。
- 木製手すりと連続してご使用される場合は必ず35シリーズ・32シリーズのブラケットをご使用ください。
- φ35、φ32手すり兼用です。φ35をご使用の場合は、予め嵌め込んであるφ32アダプターを取りはずしてご使用ください。φ32をご使用の場合はφ32アダプター、スペーサーをご使用ください。
- φ35・φ32シリーズ木製手すり(ホワイトアッシュ)をご使用の場合、ブラケットピッチは φ35の場合、900mm以内 φ32の場合、700mm以内 で取付けてください。
- 900mmより広いピッチでご使用の場合は必ず当社指定の手すり棒をご使用ください。
・襖用脱着手すり棒 φ35、L=2000mm
- 下地の無い場合は下地補強をしてください。
- ドアの錠前などが手すりに当たる場合は、壁にベースプレートを取付けて、ブラケットの出寸法を変えてください。
- 階段などの傾斜部にはご使用になれません。



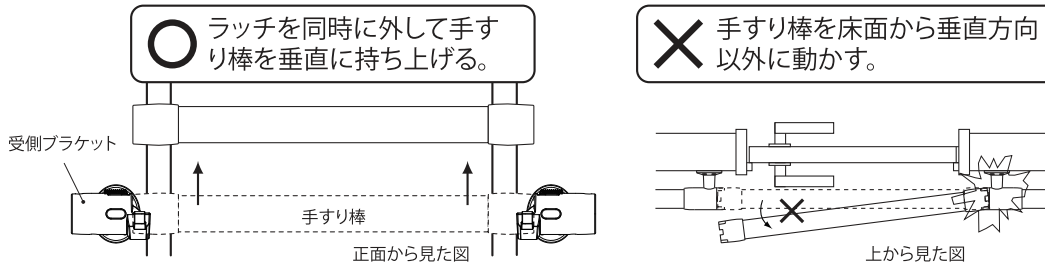
φ32アダプター

警告

! 外開き扉部分に使用される場合は、閉じ込め事故等にご注意ください。
! この商品は手すり棒先端のキャッチソケットが受側ブラケットに確実にセットされている時に強度が保持されます。受側ブラケットにセットされた時には、毎回確実にセットされていることをご確認ください。
! ケガ・床の破損・部品の破損の原因になりますので手すり棒の落下等には十分ご注意ください。

使用上の注意

- 手すり棒の取外しは、両側のツマミをスライドさせ、ラッチを解除してから垂直に持ち上げてください。
注)両側同時にラッチ解除する場合:ラッチを両側同時に解除して手すり棒を垂直に持ち上げてください。
注)片側ずつラッチ解除する場合:一方のラッチが掛かったまま、ラッチ解除した側の手すり棒先端を、垂直方向以外に動かさないでください。ブラケット破損につながります。



お願い: 施工後この施工説明書をお客様へお渡しください。

■襖用脱着手すりブラケットN [BF-26] 梱包部品

1 受側ブラケット <p>左右1セット</p>	2 キャッチソケット 	3 エンドキャップ 	4 φ32アダプター <p>※出荷時は受側ブラケット、キャッチソケットにセットされています。</p>
5 スペーサー <p>厚さ 4mm</p>	6 ブラケット取付けねじ <p>※取付けの際には壁にφ3程度の下穴を空けてください。</p> <p>⊕丸皿タツピ ねじ3.5×40</p>	7 手すり取付けねじ <p>※取付けの際にはφ3程度の下穴を空けてください。</p> <p>⊕丸皿タツピ ねじ3.5×20</p>	8 金属手すり取付けねじ <p>※襖用脱着手すり棒専用</p> <p>⊕皿ドリルねじ3.5×19</p>

■襖用脱着手すりブラケットN [BF-26] 梱包部品一覧

番号	部品名	仕様	数量
1	受側ブラケット(右勝手)	アルミ合金 アクリル系樹脂焼付け塗装	1 セット
	受側ブラケット(左勝手)	アルミ合金 アクリル系樹脂焼付け塗装	
2	キャッチソケット	アルミ合金 アクリル系樹脂焼付け塗装	2 個
3	エンドキャップ	A B S	2 個
4	φ32アダプター	A B S	4 個
5	スペーサー	A B S	2 個
6	ブラケット取付けねじ	⊕丸皿タツピ ねじ3.5×40	8 本
7	手すり取付けねじ	⊕丸皿タツピ ねじ3.5×20	8 本
8	金属手すり取付けねじ	⊕皿ドリルねじ3.5×19	4 本

参照 ■手すりの使い方と取付け位置

※歩行時、手をそえて握る様に使用する。

廊下

750mm

階段

750mm

※歩行中に動作が変わる場合に握って使用する。

出入口や上り框

800mm (手すりの中心)

トイレ

200~300mm
220~250mm

※寸法は目安ですので、使用される方の身長や体の程度により考慮して下さい。

■柱を探すには?

- 壁の両端には柱がありますので、そこを基準に左図の様に柱が入っている事が多く、軽くたたいてかえってくる音でだいたいの位置を確認します。
- 次に市販のピン式地下探し機(又は、超音波式探知機)で正確な位置を確認して、手すりブラケットの取り付け位置を決めて下さい。

ピン式地下探し機を使う場合

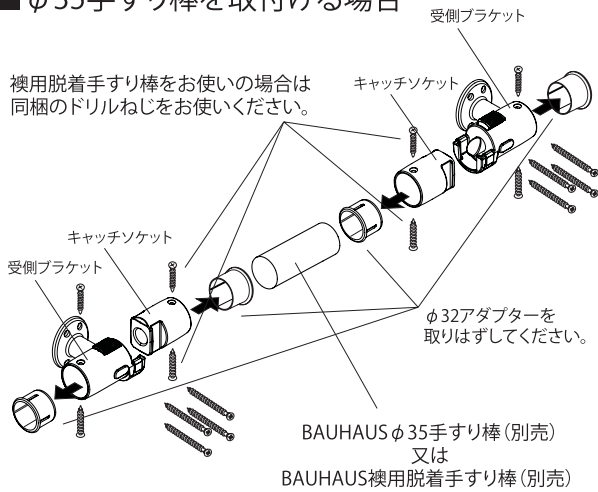
柱にあたりと針が止まります。
手応えなく針が入る

施工手順

お願い：施工後この施工説明書をお客様へお渡しください。

■ φ35手すり棒を取付ける場合

襖用脱着手すり棒をお使いの場合は同梱のドリルねじをお使いください。



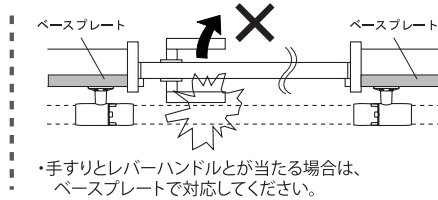
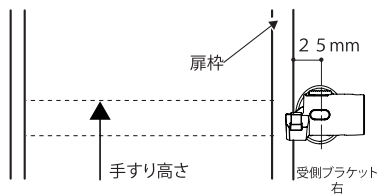
■ φ32手すり棒を取付ける場合

- φ32アダプターを外さないでください
- 連続手すり側にBAUHAUS φ32手すり棒を使用する場合はスペーサーをご使用ください。

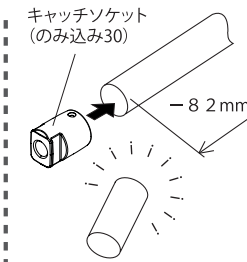
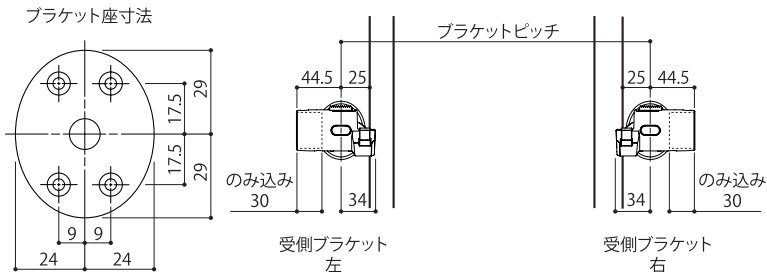
■ 連続手すりとして使用されない場合

- エンドキャップの脱落防止のため、必ずねじ止めしてください。

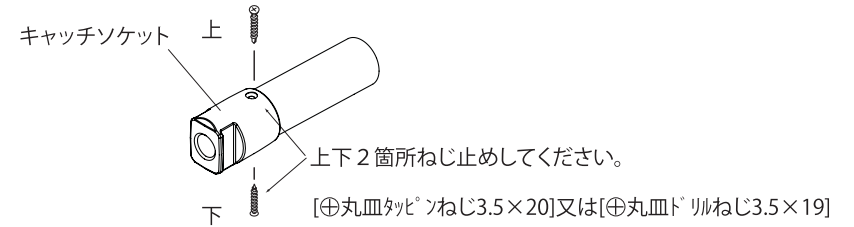
1. 片方の受側ブラケットを取付けます。(説明では右を先に付けます)
扉枠からブラケットのセンターピッチで2.5mm以上取ってください。
レバーハンドルなど到手すり棒が当たる場合は別途ベースプレートで対応ください。
注) 廊下等の横手すりと連続で使用される場合は、その高さに合わせてください。



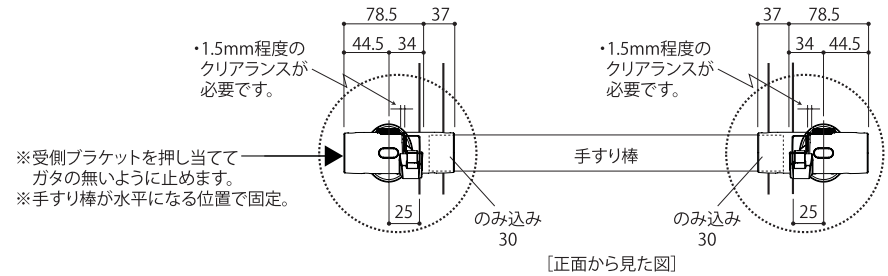
2. ブラケットピッチを決めて手すり棒をカットします。
手すり棒長さ=ブラケットピッチから、-8.2mmカットします。



3. 片方のキャッチソケットを差し込み、手すり棒とねじ止めしてください。
(襖用脱着手すり棒の場合はドリルねじを使用してください。)

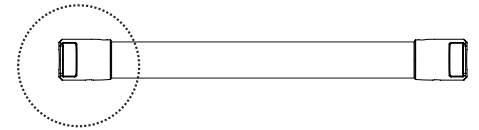


4. 左側の受側ブラケットを取付けます。
もう片方のキャッチソケットを手すり棒に差し込み、両端を受側ブラケットにセットして手すり棒が水平になる位置で、先に受側ブラケットをねじ止めします。
注) 両側の受側ブラケットの上下位置を合わせ、ねじれ位置にならない様に止めてください。



5. 受側ブラケットを取付けた後、キャッチソケットをねじ止めします。

キャッチソケットの固定位置を左右対称に止める。



6. 各部品がしっかり固定されているか、ロックが掛かるか、動作確認を行ってください。

お問い合わせ先

マツ六株式会社
商品企画部
〒543-0051 大阪市天王寺区四天王寺1丁目5番47号
TEL.06-6774-2255 FAX.06-6774-2248
http://www.mazroc.co.jp